

警報発表時における児童の登校について

宇和島市立畑地小学校

警報発表時（Ｊアラート等を含む）における児童の登校について下記のようにいたします。

記

- 1 登校前、宇和島市に次のような警報（Ｊアラートを含む）が出たときには、学校からの連絡を待たずに自宅待機してください。

暴風警報	洪水警報	大雨警報	暴風雪警報	大雪警報
津波・大津波警報	巨大地震警戒		Jアラート	

※ NHKデータ放送（TVリモコンdボタンで表示されます）等で御確認ください。

- 2 児童の自宅待機中に、学校では校区及び近隣の地域から情報を集め、検討した上で、午前9時までに、登校、または臨時休業の連絡をします（連絡・指示は、「マチコミメール」配信で行います）。なお、ミサイル発射の場合は、ニュース等により安全な場所に着弾したことが確認できたらそのまま登校させてください。
- 3 **登校中に警報（Ｊアラート）が発表された場合**は、警報発表を知った場所が自宅に近いときは、直ちに自宅に引き返し待機させてください。警報発表を知った場所が学校に近いときは、そのまま登校させてください。
- 4 **警報が発表されていないとき**でも、児童の登校に著しく危険や支障があると**保護者**が判断した場合には、その旨を学校まで連絡し、自宅待機させてください（遅刻・欠席にはなりません）。
- 5 **児童が学校にいるとき**に警報が発表された場合は、学校側が適切な処置をとります。その際には、マチコミメールで連絡いたします。
- 6 緊急の場合は、保護者の皆様へ御協力をお願いすることもありますので、よろしくお願ひいたします。

(別紙)

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

(平成 29 年 4 月 21 日付け消防国第 38 号、消防連第 24 号「弾道ミサイル落下時の行動等について」を参考に作成)

1. Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

○ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2. ミサイルが着弾した場合の行動例

○ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

※ 「国民保護ポータルサイト」にも Jアラートについての詳しい情報が掲載されておりますので一度御覧ください。



(<http://www.kokuminhogo.go.jp/>)